

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	新複合材構造の研究	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理(研究開発)	実施時期	平成17年6月～17年8月

事業の内容 従来の複合材にない耐損傷性及び適用可能性に優れた特性を有する3次元複合材を航空機に適用するため、3次元織物技術及び樹脂含浸成形加工技術を用いた実物大構造供試体の試作を行ない、設計技術及び評価技術を確立した。	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	完了年度
				研究	試作						15年度
											研究経費
				←-----所内試験----->							約20億円

評価の内容

事業の目的 軽量かつ生存性・整備性の高い航空機を実現するため、3次元複合材を適用した実物大構造供試体の試作を行ない、設計・解析技術、製織技術、樹脂含浸技術及び成形加工技術を確立するための技術資料を得ることを目的とした。	達成状況 達成効果 以下の4点の技術項目の達成により、3次元複合材の適用化技術を開発、取得した。 ア 設計・解析技術 イ 製織技術 ウ 樹脂含浸技術 エ 成形加工技術
---	--

達成時期 平成6年から試作に着手し、平成15年度までに所内試験を終了し、目標の性能を達成したことを確認した。	教訓等事項 本研究の成果のうち、特に、製織技術及び樹脂含浸技術については、我が国では研究段階であったものを応用段階へと発展させたものであり、3次元複合材に関する設計、製造分野での固有の技術に成り得たものとする。
--	---

今後の対応

今後は開発機体へ本成果の適用を進めるとともに、新たな複合材の航空機耐熱構造部等への適用化に向けて検討を進める。	その他の参考情報 [Blank]
---	----------------------------